
CROSS † CHANNEL ~ we met him again ~

CROSS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

CROSS + CHANNEL ~ we meet him again ~

【Nコード】

N6540B

【作者名】

CROSS

【あらすじ】

前作の続編です…第二部です！題名の通りに…

プロローグ（前書き）

つまらなかったらすみません…> m (—) m <

ブローグ

一つの世界には存在し…

一つの世界には存在しない…

また…

ある世界が存在し…

ある世界は存在しない…

この世は…無数の選択肢でなりたっている…

一つの事柄に…A、B、C、D…

という選択肢があるとしてよう…

Aを選んだ世界は…

Bを選んだ世界は…

Cを選んだ世界は…

Dを選んだ世界は…

また、それらを選んだ世界にもまた… A / B / C / D …
という選択肢が待ち受けているだろう…

この様に世界はなりたっている…

少年は…眠りについていた…

深く…浅い…中途半端な…それでも…彼には夢みたい…憧れる…
幸せな夢…

彼…黒須太一がたった一人しか住んでいない…本来在るべきではない世界に…彼は住んでいる…

彼の夢は…その世界にかつていた仲間達と…絶対に有り得ない…ただただ…当たり前な…みんなではしゃぎあっている…そんな…夢だった…

一人の少女が…キャンプを仲間達としていた…

彼女の名前は…佐倉霧…

夕方になり…大切な…何よりも大切な…ラジオ放送が…まっていた…
週に一回…日曜日にある…今はいない…大切な人の…ラジオ放送…
名前は…黒須太一…

ラジオ放送も終わり…

辺りは夕闇に染まり始めたころ…彼女たちは食事を始めた…

彼女は…その時…喋らなかった…

彼のことか心配…ただ…そのことしか考えていなかった…

夜…テントをはっていた…山の山中にある…祠の前で…

『明日もいい日でありますように…』

「来週もいい日であるように…」……………

プロローグ（後書き）

読んで頂きありがとうございます！感想をお待ちしております！>
m (——) m <

第1話／再会（前書き）

更新遅れました……すみません……

第1話／再会

チュンチュン……

「ふぁ〜……くふう……朝……か……朝日が眩しいぜ……」

月曜日：今日からまた一週間が始まる……

俺は、テントから這い出て近くの川へと向かった。この近くの川はまだ水が綺麗な方だ。

「……！……！！！」

「ん……？」

ふと、祠の向こうから何か叫び声らしきものが聞こえた。

「まさか……なあ……」

俺は不思議に思いながら、どこか嬉しさに満ちながらその声の方に向かった。

「……………」

彼女たちは固まっていた…

誰も動けなかった…

いや…正式に言つと、動きたくない…

誰もこの状況を理解したくないのだろう…

前にも同じ状況があつた。

一年ほど前の夏に…

人類が滅亡していたのだ…

そつ…今、このときも…人類が…誰も…いなかった…
彼女たちしかいなかった…

「どう…いうこと…?」

桐原先輩がそう言つたのを合図に…

「なんだよこれ…なんなんだよこれは!」

「霧ちゃん…?」

「美希…」

皆同様に驚き…そしてどうしようもない怒りをあらわにしていた。

「ふむ…これは…」

「……………」

そのなかでも、桜庭先輩と支倉先輩は何か思い当たる節があるような感じをしていた。

「去年の夏もこんな感じだったわよね…」

「ああ…太一がいたところと同じだ…」

支倉先輩がふと言ったことに桜庭先輩が頷いた。

「あつ…確かにそうね…」

「霧ちゃん…？」

「うん、確かにそうですね。」

「太一…」

「ペケくん…」

皆同様にあの頃のことを思い出していた…。

ガザっ！！！！？

「誰っ！？」

後ろの茂みから草と何かがかすれるような音が聞こえ、支倉先輩の声を合図にみんな後ろをみた。

「確か…こっちのほうだったよな…」

俺は声のした方へと向かっていた。まさかそんなはずはないと…そう思って向かっている。だってさ…あれから一年以上たつんだぜ…？そんな…ことは……

「な×　　だよこれは」

「×ちゃん…？」

まさか……………

ガゼっ！！！！？

しまった…………！！？

「誰っ！？」

この声は…………

俺は茂みの中からでた…そこには…

懐かしい顔ぶれがいた…

「曜子ちゃん…」

「太一…」

「冬子…」

「た…いち…」

「みみ先輩…」

「ペケくん…」

「友貴…」

「太一…」

「桜庭…」

「ふっ…久しぶりだな…親友…」

「美希…」

「先輩…」

俺は…最も会いたかった…最愛の彼女を前に…泣いていた…

「霧…元気だったか…？」

「太一…先輩…元気…でしたよ…!!」

彼女は…微笑みながら…泣いていた…

今の俺にはできると…確信をもち…俺はそんな彼女を…そっと…抱きしめた…

久しぶりの…再会だった…

第1話／再会（後書き）

読んでくださいますありがとうございます！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6540b/>

CROSS†CHANNEL ~ we met him again ~

2010年12月23日02時16分発行